

団体	Sayama Second Stage
----	---------------------

(1) 概要

日時	2017年 9月29日 18時30～20時30分 (水富・柏原地区編)
場所	広瀬公民館 ホール
参加人数	26名+運営者9名(講師1名 事務局4名、 スリーエス4名)
講師	合同会社 Active Learners 共同代表 米元 洋次
テーマ ゴール	自分の地区の課題はなんだろう 「自分の地区の未来に向けて今やることがハッキリしている!!」
流れ	マインドセット⇒自己紹介アイスブレイク⇒個人ワーク⇒グループワーク⇒全体共有⇒ふりかえり

(2) 報告事項

グループワークから拾った意見 (箇条書き)

○・・・地区住民で解決 ●・・・外部の協力が必要

【1. 水富地区】 (3グループのうち1グループは独自の分類のため、分かる分類のみ記載)

※印は最後の項目参照

〈すぐ解決すべき〉

- PTAの成り手が少ない
- 他人は他人という考え方
- 自治会活動後に何をしたら良いか
- 子の学力向上が必要 (学力が低い)
- 学校 (大・高) はあっても地域との関わりがない
- 大学との交流の場があるか?
- 福祉、協働など話し合いの場がバラバラ
- 共働きが増え大人の話す機会が少なくなった
- 気軽に利用できるカフェ、サロンが少ない
- 支え合い活動のやっているところの差がある
- 次年度の会長候補がない※
- 親のモラルが低下※
- ケイタイ代におしみなく使うが、子供の食事に使わない※
- ご近所と話すことがあまりない※
- 子どもが楽しめるイベントが少ない※
- 高齢者と子どもと一緒に活動できる場所が少ない※
- 学校と自治会のコミュニケーションが不足している※
- すでに活動しているが、さらに地区ぐるみに盛り上げる※

- 子供が少ない
- 高齢者の増加で大変である
- バス路線が地域に行き渡っていない
- バスの本数が少ない
- 道路が狭くて曲がりくねっている。

- 歩道が少ない
- 買い物の場が少ない（無い）
- 日生さやま台のコンビニがなくなるなど買い物場所が減少
- 2020・東京オリ・パラへの対応策はあるか？
- 地域のネットワークがない※
- 子ども達の教育が低下している※
- 災害に対する意識が低い※
- 食育が一人歩きしている※
- 求人を出しても応募が少ない（全くない）※
- お茶が特産なのに駅で買うところがない

〈ゆくゆく解決すべき〉

- 行事に参加する人がおなじである
- あと、10年後に私はいきているか…
- 伝統文化の伝承は出来るか？
- 地域資源を活用した観光開発は始まっているか？
- PTAや自治会の担い手が出てこない
- 中学生の活用が必要（防災）
- 商店がさびれている
- 子どもがあこがれるような大人が少ない
- 川向う、川こっちなどとまだ言っている
- 若い人が地域などに無感心

- エレベーターのない共同住宅（5F）が多くある
- 都市計画できれいな町になるか心配
- 公共施設が遠い
- 公共施設の再配置
- 高齢化が進んでいる
- 子ども人口が減少している
- 若い家族が引越して来ない
- 交通機関の少なさに驚く（車がないと移動できない）
- 入間市駅に行くバスがない
- 商店街がさびれている（シャッター通りが目立つ）
- 狭山市の良い所がアピールできていない
- 防犯カメラが極端に少ない
- 起業したいと思う若者が少ない

※印から解決へのキーワード

- ・次年度の会長候補がない⇒みつけ方
- ・自治会もPTAも楽しく
- ・みんなで出来ることをみんなで！！
- ・地域：学校、子ども：高齢者がコラボする

・他人に対する意識を持つ⇒広げる⇒狭山っていいね！！



【2. 柏原地区】

〈すぐ解決すべき〉

- 元気に外で遊ぶ子供が少ない
 - 子供と高齢者の接点が少ない
 - 子育て世帯の地域活動参加率が少ない
 - あいさつ運動
 - 近所付き合いが希薄
 - 高齢者、生活弱者のささえ手不足が課題
 - 住民の情報交換の場が不足していることが課題
 - 移動手段が少ない
 - 通勤の方が団地内をスピードで（車）走る
 - 挨拶をする人が少ない
 - 高齢者と子どもの接点が少ない（世代間交流）
 - 農家の収穫の手伝い
 - 運動会の手伝い
 - 子ども会に入らない世帯がある
 - 子育てしやすい町のアピールがたりない
 - 商店が少なすぎる
 - 夜、道が暗くて危険
 - 地元の子が高校で外に出る
 - 大学を活かせていない
 - 文理大学との連ケイ、交流が少ない。見えない
 - 防災キャンプに参加している
 - 学校として地域に育ててほしいという思いがある
 - お世話になるのに申し分けなさがある。学校として
 - 近所付き合いが疎遠
 - 個人主義的思考
 - 自治会に入会しない住民が増えつつあり
 - コミュニティの希薄化
 - 地域の拠点となる施設、場所が少ない
 - 災害時の地域の連携
 - 地域と学校のつながりが少ない
-
- 高齢者のみの世帯が多い
 - 柏原幼稚園の跡地が活用されていない
 - 水富・柏原地区限定の茶の花号がほしい
 - 車に乗れない方が多く、バスの本数が少ない
 - 柏原児童館の設置申請
 - 地域の大学生との協働作業
 - 市外から人が来てくれない

- 子供が安全に遊べる場が少ないこと
- 子供が自由に遊べる時間が少ないこと
- 子育て中の親が孤立であること
- 親が子育てを人まかせにすること
- スーパー等のお店がないこと
- 入間川の橋が混んでいる
- 歩道がガタガタ
- 智光山の自然は良いが、ネコが異常に増え住民の苦情が続出
- 独身の人が多い
- 晩婚が増加
- 農地が使われていない
- 農地の耕作放棄地が多く雑草がゴミ捨てになっている

〈ゆくゆく解決すべき〉

- 高齢者のスポーツ施設が少ない
 - 若い人が出ていく
 - 交通量が多くて子ども一人の外出が心配
 - とじこもる高齢者が多い
 - 世代間の交流が少ない
 - 若い世代が狭山市から出ていく
 - 子どもが減少していること
 - 車がないと不便
 - 高齢になって運転できないと不便
 - 空き家が増加している
 - 空き家を障害のある人のグループホームに
 - 魅力ある柏原になってほしい
 - 高齢者の一人暮らしが増えている
 - 核家族化の進行
 - 若い人の転入が少ない
-
- 空き家が増えつつあるが、活用手法が課題
 - ニュータウン内の空き地の活用、例、スーパー・図書館・児童館
 - スーパー・店舗がない。魚、肉等の買いものをするところがない（半径 500m以内に）
 - 高齢者が買い物難民化の傾向
 - 農地の活用が課題
 - 若い世代がニュータウンに入っていない
 - 魅力がない
 - 少子高齢化が進行
 - 智光山公園が有効に活用されていない
 - 橋を渡るのに時間がかかる
 - 道がせまく、自転車も安全に走れないこと
 - 交通の便が悪い。便が減っている
 - 農地があれている

- 無人野菜販売が売れない
- 障がいのあるひとの就労
- 若い世代の働く場が遠い
- 地元の企業に勤めない
- 子供の遊び場がない。遊具があるなど
- バス 行儀が悪いという苦情が出るとバスにのっては、いけない
- オリンピックに向けた施設の提供
- 道路状況が劣悪で事故が多く、通学路確保も困難

<アンケート>

1. 今回の意見交換会に参加してどう思いましたか？

課題は日本共通の課題が多いと感じた

様々な方と交流できて有意義であった。また、共通認識が図れた

1回で終わることなく何回も実施することによって、お互い様の意識が高まってくる地域に根ざした方々と交流ができてよかった

課題として挙がるものはこのグループも同じである

良い面を出して生かしていく。課題ばかりではなく前向きな話し合いもしたい

自発的に考え付くことはないであろう課題が多々挙がり、楽しかった

地域のことを深く考えている人がたくさんいることに心強く思いました。

2. あなたの住んでいる地域の課題は何だと思えますか？

(水富地区)

人のつながり、地域に対する人の関心をさらに高める

交通関係、高齢化、他人との関わり方など

十人十色の考えがコミュニティとしてまとまりにくい部分もあるのでは

子どもも大人も集まれる場所が少なくなっている

地域でのコミュニケーション不足。これば解決できればたくさんの課題が解決できると思う

自分達が課題を産んでいるところが多いので、まずはそのことに気付くことが大切だと思う

(柏原地区)

高齢化、若い人が少ない

買い物に困ることが多く、子どもも少なく活気がない

近所付き合いが希薄。そこから色々な課題が生じていると思う

道路の整備、交通の不便さ

3. 他の地域の課題についてどう思いましたか？

すぐに解決できることは少ないと感じたが、何か始めることが大切

自分のグループと同じような課題があった。

同じような課題が挙がっていたので、みんなで取り組んでいくことが大切

4. 課題の解決に向けて何が必要だと思いますか？

自分自身が楽しく、さらに活動していくこと

前向きな検討と話し合い

少しでも動いていくこと、人と人とのつながりを大切に
地域の人たちが他の人の考えを受け止めること
地域のチームワーク、世代間交流の強化
このように意見交換のできる場
できることをまずは始める
挨拶。子どもも大人も高齢者もすぐに繋がるができると思う
人のつながり。地域のイベントに参加することにより解決できるのは。
共通した思いをみんなで持つこと
地域の中での話し合い、異業種間での知恵の出し合い
課題の認識・共有

5. 課題の解決にむけてあなたは何かできると思いますか？

コミュニティサロンの開催に向けた仕掛けを行う
地域の一員として、地域の課題に取り組んでいきたい
協力できることに協力すること
各団体を繋げる
高齢者に対してできることを取り組む
家を出て、外部の人と話すような仕掛けが必要か
「挨拶運動」定着させ、自然と誰もが挨拶をできる地区にしていきたい
人と人とのつながり→あいさつ運動から始めるのが近道
より多くのメンバーで将来の狭山市について考えること
現在活動していることを続けていけたらと思う